



市 政 執 行 の

所 信 表 明

平 成 2 6 年 5 月

名 寄 市

【はじめに】

本日、平成26年第2回名寄市議会臨時会の開会にあたり、市民の代表である議員各位を前に、私の2期目の市政運営にかかる所信の一端を申し述べる機会をいただきますことに、心から感謝申し上げます。

このたびの市長選挙におきまして、無投票という結果で再選を果たすことができましたことは、市民の皆様のあたたかいご支援の賜物であり、私の1期4年間の取組に対する評価と、今後の市政運営に対する期待感の表れと受け止めており、身に余る光栄ではありますが、その責任の重さに改めて身の引き締まる思いであります。

1期目の市長就任以来、総合計画を市政運営の中心に据えながら、民間出身としての視点や発想、人脈、そして行動力を活かしたトップセールスと市民との協働により、地域の財産を磨き、市内外への情報発信に努めるとともに、市民の満足度の向上、明るく元気なまちづくりに向けて、全力を傾けてまいりました。

この間、お力添えをいただきました関係各位に、改めて感謝を申し上げます。

【1期目の取組について】

顧みますと、私は、1期目就任時の所信として、市民の皆様との

協働のもとに自主性と自立性の高い行財政運営に取り組むべく、6つの公約を基本施策として市政運営にあたることを表明いたしました。

まず、『民間的発想での行政運営』についてであります。観光や交流などにおいて、トップセールスを含めて本市の魅力を積極的に発信するとともに、多様な媒体による情報発信や「市長室開放事業」の実施、「総合案内窓口」の設置などにより、市民と行政との情報共有、市民参加の推進に加え、より丁寧で市民に身近な市役所づくりに努めてまいりました。また、「風連本町市街地の再開発」や「駅前交流プラザ『よろーな』の整備」など都市機能の整備を進めるとともに、北・北海道中央圏域定住自立圏を形成し、医療や福祉をはじめとした新たな広域行政の推進を図るほか、職員配置の適正化や有利な財源の確保などの行財政改革を推進することにより、将来の財政運営についても一定の備えを行ってきているところであります。

次に、『基幹産業の推進』についてであります。農業団体への支援を行うとともに、新たに「食肉センター施設の改修」や「もっともち米プロジェクト事業」、「薬用作物振興事業」など地域資源を活用した振興策を実施するほか、「地域おこし協力隊」など外部人材を活用した担い手対策についても取り組んでまいりました。

次に、『名寄市立総合病院のさらなる充実』についてであります
が、ヘリポートの整備も合わせた「精神科病棟の改築」、道北4市
町による「ポラリスネットワーク」の構築などにより医療機能の強
化を図り、より安心して暮らせる医療環境を整備してまいりました。

次に、『名寄市の財産を活かしたまちづくり』についてでありま
すが、「なよろ市立天文台のグランドオープン」や「大学図書館の
整備」など特色のある教育環境の整備を進めるとともに、「有森裕
子なよろひまわりリレーラン」などの野外イベントを開催するほか、
名寄市の豊富な資源を活用する「新エネルギー・省エネルギービジ
ョン」を策定するなどして、本市の持つ魅力をさらに輝かせる取組
を進めてまいりました。

次に、『自衛隊名寄駐屯地の堅持』についてであります。関係
各位のご協力をいただきながら進めてまいりました要望活動が実り、
昨年策定された、新たな国の防衛大綱及び中期防衛力整備計画にお
きましては、部隊削減などの影響はない見込みとなったところであ
ります。

最後に、『市民福祉の充実』についてであります。 「親子お出
かけバスツアー」や「子育て応援事業」など子育て支援策を充実す
るとともに、「広域最終処分場整備事業」や「災害時要援護者支援
事業」など暮らしの安全・安心を向上するほか、「名寄南小学校の

改築」や「学校力向上に関する総合実践事業」、「（仮称）市民ホール整備事業」など教育・文化の充実を進めてきたところであります。

これらの施策は本市の将来を見通し推進してきたものでありますが、まいた種が花を咲かせ、実を結ばせるため、私は、今後とも、全力で市政を推進してまいる考えであります。

【2期目にあたっての基本施策について】

さて、我が国においては、第二次安倍内閣の進める経済財政政策により経済状況は上向いており、4月の月例経済報告においても「景気は、緩やかな回復基調が続いている。」との判断が示されております。また、北海道においても「景気は持ち直している。」とされておりますが、地域においては、景気回復の実感が未だに十分浸透したとはいえない状況にあります。また、人口の減少や高齢化の進展により税収が減少する一方で社会保障関連経費は年々増大する中、平成26年度の地方財政計画では、地方交付税を前年度対比で1%、1,769億円の減少としており、地方自治体の財政は今後も厳しい状況が続くものと想定されるところであります。

本市におきましても、自主財源の割合が低く弾力性の低い財政構造となっていることに加え、合併に伴う普通交付税の特例措置の終

了を間近に控え、今後においてはさらに厳しい財政運営を余儀なくされようとしております。

このような情勢の下、10年先、20年先を見据え、健全な財政運営を基調に、基礎自治体として調和のあるまちづくりを進めるため、より計画的かつ効果的、効率的な市政運営に努めるとともに、民間の発想力とスピード感を持って、地域の資源と特性を活かしながら、本市をさらに明るく元気にするため、私は、三つの政治姿勢を基本とし、市政の発展に全力を傾注してまいります。

第一は、「民間会社的発想での行財政運営」であります。

私は、市の仕事は「住民の幸せを作ること」であると考えており、職員全体に「市民は顧客」であり、「市民が主役である」という意識を共有し、親切で丁寧な住民サービスを行うとともに、コスト意識と現場重視の姿勢の徹底を図ります。

第二は、「さらなる市民参加とよりわかりやすい行政運営・情報公開」であります。

市民が主役のまちづくりは、本市の憲法である「名寄市自治基本条例」が目指す、地方自治の真の姿であります。私は、主権者たる市民から信託をいただいていることを自覚し、市民と行政とのまち

づくりに関する情報の共有や、相互の連携・協力を一層推進してまいります。

第三は、「地域の宝・財産・特色に徹底的にこだわったスケールの大きなまちづくり」であります。

私は常々、本市には、自然が育み、先人達が残した有形無形の財産が豊富にあり、高いポテンシャルを有するまちと考えております。これらの財産を活かし、さらに磨きをかけることにより、経済的な効果のみならず、市民の誇りと自信を醸成し、さらに住みよいまちづくりを進めてまいります。

私は、この三つの政治姿勢を根底に据え、市民の皆様との協働のもと、総合計画を政策の基本としながら、次の六つの施策を進めてまいります。

一点目は、「オールなよろで協働のまちづくり」であります。

市民と行政との情報共有をさらに推進するため、市のホームページを刷新するとともにあらゆる広報媒体を活用し、わかりやすい情報発信に努めるほか、新たにタウンミーティングを開催するなどして市民との対話を深めてまいります。

また、私は、歴史的に形成された地縁型の町内会が地域コミュニティの基本であり、「市民が主役のまちづくり」の主体の一つであると考えております。それぞれの町内会では安全・安心な住みよい地域を目指し、様々な活動に自主的に取り組んでいただいておりますが、近年は、少子高齢化や生活様式、価値観の多様化により、地域の連帯感が薄れるなどの課題が生じております。人間関係が希薄になりつつある今こそ、地域コミュニティを再生するため、町内会等の活動に対する支援を強化してまいります。

地方自治体の地域間競争が激化する中、本市の魅力や情報を全国に広く発信することは、地域の活性化を図る上で極めて重要であります。今後とも、私自身がトップセールスマンとして精力的に「名寄」を国内外に発信するとともに、引き続き、本市の知名度向上と発展に貢献していただいている「名寄観光大使」や「名寄ふるさと大使」の皆様のお力をお借りし、併せて、「ふるさと会」会員の拡大を支援するなど、名寄応援団のネットワークを強化することにより、地域振興に努めてまいります。

また、人口減少社会が急速に進展する中で持続可能な自治体運営の確立を目指し、公共施設のあり方や有効活用の検討、管理計画の策定を行うなど、不断の行財政改革の推進に努めてまいります。

二点目は、「高齢者、障がい者が安心して住み続けることができるまちづくり」であります。

本市を、市民だれもがどこにいても適切な医療を受けることができるまち、高齢者や障がい者が積極的に社会参加できるまち、子どもがのびのびと育ち女性が安心して子どもを産み育てられるまちにしていくため、圏域の基幹病院である名寄市立総合病院を核とし、風連国保診療所、名寄東病院はもとより、民間医療機関とも連携を進めながら、医療提供体制の充実強化を図るとともに、名寄市立大学、福祉施設・医療機関、町内会、ボランティア団体等と連携し、高齢者や障がい者に優しいまちづくりを目指してまいります。

市民が安全に暮らしていくためには、まちの環境整備はもとより、雪国である本市にとっては、冬期間の快適な生活環境の確保が課題であります。私は、市民生活の安定や冬の安全・安心な道路空間の確保など、生活環境の整備を進めるため、効果的な道路除排雪の実施やスクールゾーンを中心とした街路灯のLED化を推進してまいります。

三点目は、「子育てに優しいまちづくり」であります。

子どもたちは、本市の未来を担うかけがえのない宝です。お父さん、お母さんたちが「ここで育って、ここで育ててよかった」と思

えるよう、名寄版「子ども・子育て会議」の議論を深め、子どもや子育て家庭の実情を踏まえた、さらなる子育て支援の充実に努めてまいります。

また、子どもたちが、学習や様々な体験・交流活動を通じ社会性や自主性、創造性などを育むことができる児童館や児童クラブなど、児童が放課後に安全に活動できる居場所の確保が重要であります。保護者の就労が増えている状況の中で、学校区ごとの学童保育などに加え、「まちなか」への子どもの居場所づくりにつきましても検討を進めてまいります。

四点目は、「足腰の強い、活力に溢れたまちづくり」であります。

本市は生産面積日本一のもち米をはじめ、豊かな農業生産基盤を有しております。本市の基幹産業は農業であり、農業の活性化が重要だと考えております。しかし、全国的には農業従事者の高齢化、耕作放棄地の拡大などの課題が生じており、本市におきましても農家戸数が減少傾向にあることから、今後は優良農地の確保と耕作放棄地の解消が必要不可欠となっております。私は、農業生産体制を持続的に発展させるため、関連機関と連携し、名寄らしい農業農村を見据えて、本市の特色を活かした担い手育成支援対策を推進するほか、東アジアへの輸出も視野に、商工業者とも連携を図りながら

名寄産農産物・加工品のブランド化を一層推進してまいります。

また、企業誘致、地場産業育成、起業家支援といった事業を効果的に組み合わせ、地域経済の活性化に一層取り組むため、新規ビジネスや起業へのチャレンジに対する新たな支援制度を構築するほか、豊かな自然環境や国内最大級の望遠鏡を有する名寄市立天文台、雪質日本一のスキー場など、本市の観光資源を最大限に活かし、道内外からの交流人口の拡大が期待できる各種スポーツ大会や合宿の誘致を強化するとともに、各種レクリエーション施設などが整備され、市民だけではなく、多くの近隣住民にとって憩いの場となっている日進地区の再整備を進めてまいります。

五点目は、「人が生き生きと活性化するまちづくり」であります。

私たちには、本市の未来の担い手である子どもたちをしっかりと育てていく責務があります。しかしながら、少子化の進行に伴う児童生徒数の減少や、学ぶ意欲、規範意識の低下、社会性の未発達など、学校教育を取り巻く様々な課題が指摘されております。一方、過疎化や高齢化による後継者の不足、また、地域文化に対する認識の不足により、伝統文化の継承もまた課題となっております。私は、学校教育の環境整備を進めるため、学校整備計画に基づいて名寄南小学校の改築整備を進めるとともに、風連中央小学校の改築整備に

ついて検討してまいります。

また、開学以来の懸案である名寄市立大学図書館の整備を進めるとともに、短期大学部児童学科の4年制化について議論を進め、教育研究環境の充実を図り、魅力ある大学づくりを推進してまいります。

本市は、カナダのカワーサレイクス市リンゼイ、山形県鶴岡市藤島と姉妹都市の提携を行うとともに、ロシアのドーリンスク市とは友好都市、東京都杉並区とは交流自治体協定を結んでおり、児童生徒の交流を含めた交流事業を推進してきております。また、災害時相互援助に関する協定を締結している福島県南相馬市とも、林間学校の受入やマラソン大会への参加といった相互交流を行ったところでもあります。さらに、昨年度からは台湾との交流も始めたところであり、中学生の野球交流を実施したほか、高校生の教育旅行誘致により、市内高校生との交流も実現したところでもあります。この取組は子どもたちの国際感豊かな人間形成に資するものでありますことから、今後、国内外の交流をさらに推進し、郷土愛と広い視野を持った青少年の健全育成を進めてまいります。

市民の長年の思いをのせて建設を進めております（仮称）市民ホールは来年5月にオープンを迎えます。地域文化のさらなる発展に向け、ホールを拠点とした文化の創造・発信に力を注いでまいります。

す。

六点目は、「自衛隊の体制維持強化と支援体制の堅持」であります。

本市において欠くことのできない存在である陸上自衛隊名寄駐屯地につきまして、今後においても、体制の拡充を図るため関係団体等との連携を強め、取組を強化してまいります。

【結びに】

以上、私の２期目の市政運営にあたっての所信を述べさせていただきましたが、今後とも、「公平・公正」の原則のもと、市民の皆様との対話を進めながら「自然の恵みが人と地域を育み市民みんなで創る心豊かな北のまち・名寄」を目指し、全力で市民の皆様の負託に応じてまいります所存であります。

議員各位並びに市民の皆様におかれましては、今後の市政運営に一層のご理解とご協力を賜りますようお願いを申し上げ、私の２期目の市長就任にあたりましての所信表明といたします。